

はじめに

1 新しい生活

共愛学園での新しい生活（中学から来た生徒もいるが）

この学校に入学

みなさんがこの学校を選んだ？

神がみなさんを選び、入学するよう導いて下さった？

「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。」

(ヨハ 15:16)

発想の転換

(私は) 生きている

生かされている

キリスト教学校

聖書を読み、祈り、賛美歌を歌う、聖書の授業

すべてのものを創造し見守っている神を知り、神の教えを学ぶことが大切

「主(神)を畏れることは知恵の初め。」(詩編 111:10)

(畏敬) 恐れ敬う

人間は、神を知ることによって知恵を得、真理を知り、正しく強く優しく生きる。

「あなたがたも聞いているとおり、『隣人を愛し、敵を憎め』と命じられている。

しかし、わたしは言う。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。」

(マタイ 5:43-44)

「あなたがたのうちでいちばん偉い人は、仕える者になりなさい。」(マタイ 23:11)

神の教えは普通の考え方とは違うが、大切な真理を示している。

2 ミッションをもつ学校

ミッション (mission): 外国に宣教するために欧米の諸教会が設立した団体

宣教師 (missionary) を派遣し、教会、医療施設 (病院)

福祉施設 (孤児院、～ホーム)、学校、幼稚園

ミッションが設立し経営する学校

ミッションスクール

(キリスト教主義学校、キリスト教学校)

mission: 使命

キリスト教学校には神から与えられた使命がある。

その使命とは、イエス・キリストの教えに基づいて教育をするということ。

あなたのミッション (使命) は？

あなたがこの世に生まれてきた意味は？ 目的は？ 何のために？ 使命がある！！

第1部 キリスト教学校

第1章 学校生活の分野

1 各教科

2 道徳と宗教科 (聖書科)

3 特別活動

- 4 教育課程外活動
- 5 教会出席の奨励
- 6 全学校生活でのキリスト教教育

第2章 キリスト教学校の生活

1 礼拝

(1) 礼拝とは

- 何を拝んでいるのか？
- 礼拝の目的は何か？
- どんなやり方で礼拝しているか？

(2) キリスト教の礼拝

- 何を拝んでいるのか
 - すべてのものを創造し、すべてのものの根源であり支配者である唯一の神を拝んでいる。
 - 神の存在
 - イエス・キリストが、神の存在と、神はどのような方であることを教え、身をもって示した。

キリスト教の礼拝の目的

- 神の力を賛美し、神の恵みに感謝する。
- 聖書朗読と説教から、神の人間への語りかけを聴く。
- 神に祈る。
- 自分の罪を反省する。
- 人間らしく正しく喜んで生きるための原動力を得る。

どんなやり方で礼拝しているか

- 奏 楽
- 黙 想
- 賛美歌
- 祈 禱
- 聖書朗読
- 説 教
- 儀 式（聖餐式や洗礼式）
- 献 金

2 祈り

(1) 祈りとは 自然の祈り心としての祈り

(2) キリスト教の祈り

神との「対話」、交わり、神様とお話すること

神の語りかけを聴く努力が大切

神の語りかけ（聖書の言葉を通して、良心の声として）

祈りの内容

- 感謝の祈り（感謝）...ありがとう、神様に感謝、恵みを数える
(例)健康で生活できることを感謝いたします。

神を賛美する祈り（賛美）…神様をほめたたえる。ハレルヤ！

（例）神様のみ名をほめたたえます。

反省する祈り（反省、懺悔）…良くない考えや行いを反省する

（例）神様ごめんなさい。すみません。赦してください。

執り成しの祈り（執り成し、代禱）…自分以外の者に対しても祈る

（例）友だち（肉親）の病気が早く治りますように。

世界中の人たちが、みんな幸せになれるように。

お願いする祈り（祈願）自分の願いを祈る。お願いします。

（例）入学試験に合格できますように。お導きください。

祈り方

神への呼びかけ

神様、父なる神様、天のお父様、天の父なる神様 など

祈りの内容

感謝、賛美、反省、執り成し、祈願

イエス・キリストの名前によって祈る

この祈りをイエス・キリストのみ名によってかなえてください。

この祈りを主イエス様のみ名によっておささげいたします。

アーメン（ヘブライ語で「確かに」「まことに」「然り（その通り）」）

祈りの種類

成文祈禱（祈りの言葉が決まっている） 主の祈り、ロザリオの祈り

自由祈禱（各自が自由に祈る）

公的な祈り（礼拝、集会等で祈る公的なもの。共同の祈り）

個人の祈り（個人的な祈り、一人で祈る。密室の祈り）

口禱（声を出して祈る祈り）

黙禱（声を出さないで祈る祈り）

黙想（神との交流をする祈り）

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。

門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」（マタイ 7:7）

「わたし（イエス・キリスト）の名によって願うことは、何でもかなえてあげよう。」

（ヨハネ 14:13）

「わたしの名によって何かを願うならば、わたしがかなえてあげよう。」（ヨハネ 14:14）

「願い求めても、与えられないのは、自分の楽しみのために使おうと、間違った動機で願い求めるからです。」（ヤコブ 4:3）

◎ 課題 お祈りを書いてみましょう。（別紙）

3 主の祈り

(1) 主の祈りについて

主 = イエス

主の祈り：イエスが祈りの模範として弟子たちに教えた成文祈禱

Cf. マタイによる福音書 6章 9～13節

ルカによる福音書 11章 2～4節

(2) 主の祈りの意味

呼びかけ

天にまします我らの父よ、

天にいます：神は天地万物の創造者で、神には出来ないことはない

父よ：善悪をはっきりと示す厳しさと愛を持って私たちを見守る神に、親愛の気持ちをこめて「父よ」と呼びかける

6つの祈り

ねがわくは、み名をあげめさせたまえ。

すべての人間が、創造者である神を信じて賛美するようにして下さい。

み国を、きたらせたまえ。

み国：天の国、神の国 神が支配する状態、神が望んでいる状態

私たち一人一人の心や行いや社会の状態を、神の国のようにして下さい。

みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。

神の国のように、この地上も神が支配する平安な状態にして下さい。

我らの日用のかてを、今日も与えたまえ。

私たち世界のすべてのものに生活必需品を与えて下さい。

我らに罪をおかすものを、我らがゆるすごとく、

我らの罪をもゆるしたまえ。

私に迷惑をかけた人をゆるすように、私の罪をゆるして下さい。

我らを、こころみにあわせず、悪より救い出したまえ。

悪魔が誘惑しないように、誘惑に負けてしまった時には、そこから救いだし、立ち直らせて下さい。

賛美の祈り

国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。

神の国、神の力、神の栄光を賛美する

アーメン

(確かに、まことに)

4 賛美歌(讃美歌)

旧約時代の賛美歌集...詩編

キリスト教時代...礼拝・儀式・集会で神を賛美する歌を歌った

(使徒 2:47、1コリ 5:19、コサイ 3:16)

賛美歌を歌う理由

心が神に向かう

清く明るく愛に満ちた人生を目指すことができる

信仰が育つ

悲しいとき、神の慰めが与えられる

宗教的情操を養う

賛美歌を歌うために

楽譜が考案された

メロディー・リズム・ハーモニーなどの研究がされた

西洋音楽の基礎が作られた

楽器も工夫された(オルガン)

賛美歌の中にはある曲
 ミサ曲（聖餐式（ミサ）の時に歌う）
 オラトリオ（メサイア）
 受難曲（イエスの受難）
 黒人霊歌
 ゴスペル・ソング
 キリスト教民謡のカロル
 フォークソング調の賛美歌
 聖歌
 讃詠
 頌栄

5 聖書

(1) 聖書とは

世界のベストセラー

<http://www.bible.or.jp>

日本聖書教会

1996年度世界の聖書頒布数(1995年11月～96年10月までのUBSによる聖書頒布統計)

NRは、新しい読者用例えば移住者、新しく字が読めるようになった人のための分冊、選集等

地域	聖書	新約聖書	分冊	NR用分冊	選集	NR用選集
アフリカ	2,590,624	605,094	1,607,147	868,938	5,665,978	347,648
アメリカ	7,346,446	2,449,015	5,967,611	4,716,621	261,628,747	14,206,424
アジア	7,065,562	6,996,738	11,737,421	13,231,836	160,872,554	12,581,500
太平洋						
ヨーロッパ	2,367,855	2,107,028	2,897,698	111,521	2,555,974	133,126
合計	<u>19,370,487</u>	<u>12,157,875</u>	<u>22,209,877</u>	<u>18,928,916</u>	<u>430,723,253</u>	<u>27,268,698</u>
					(総合計)	<u>503,390,408</u>

世界の聖書翻訳言語数(1998年12月末現在)

地域別	分冊	新約	聖書	合計
アフリカ	227	259	138	624
アジア	228	207	112	547
オーストラリア	173	182	30	385
ヨーロッパ	106	29	62	197
北米	41	25	7	73
中南米	141	226	16	383
造成言語	2	0	1	3
合計	918	928	<u>366</u>	<u>2,212 (言語数)</u>

聖書には何が書いてあるのか。

テモテへの手紙 二 3章14節 - 17節 (新約聖書(新)p.394)

「だからあなたは、自分が学んで確信したことから離れてはなりません。あなたは、それをだれから学んだかを知っており、また、自分が幼い日から聖書に親しんできたことをも知っているからです。この書物は、キリスト・イエスへの信仰を通して救いに導く知恵を、あなたに与えることができます。聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれ、人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえに有益です。こうして、神に仕える人は、どのような善い業をも行うことができるように、十分に整えられるのです。」(テモテ 3:14-17)

キリスト教の信仰の基準が書かれている。

救いに導く知恵が書かれている。

神の靈感によって書かれた「神の言葉」(御言葉)が書かれている。
人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするために書かれている。
善い業を行うことができるように。

.....
神と人間との契約が書かれている。

聖書：英語で「The Bible」(バイブル ビブロス(本) パピルス)

最も本らしい本、特別の本

聖書 = 旧約聖書 + 新約聖書

旧約聖書、新約聖書の「約」は、「約束」または「契約」の約

(2)旧約聖書

The Old Testament(古い(旧い)約束、契約)

神のイスラエル民族への約束

「あなたがたイスラエル民族を特別な民として選び、恵みを与えましょう。あなたがたイスラエル民族は神の律法を守りなさい。そうすれば幸いな民族になるでしょう」という約束。(申命記 12:28 申命記 5:33 他)

旧約聖書 39巻 + 続編 B.C.850 ~ B.C.150、約 700 年間に書かれ編集された。

歴史書(律法と歴史書)

文学書(諸書)

預言書(預言)

原本：ヘブライ語で書かれた。右から左に書く。(例、創世記 1:1、ベレシート)

(一部アラム語)創世記 31:47(2語)、エレミヤ 10:11、エズラ 4:8-6:18、7:12-26、

ダニエル 2:4b-7:28

(3)新約聖書

The New Testament(新しい約束、契約)

神の全人類への約束

「ナザレのイエスをメシア(救い主)と信じるならば、すべての人は、その信仰によって救われ、明るく希望を持って生きることができるようになる」という新しい約束。

(ローマ 10:9-13、ヨハネ 3:16-17)

新約聖書 27巻 A.D.50年頃 ~ A.D.2世紀中頃、約 100 年間に書かれ編集された。

福音書 (4)

使徒言行録 (1)

手紙 (21)

黙示録 (1)

原本：コイナー・ギリシア語 (B.C.4世紀頃 ~ A.D.6世紀頃、地中海沿岸で使用)

(共通語) 左から右に書く。(例、ヨハネ 1:1、エン アルケー)

第3章 キリスト教会

1 教会とは

教会(エクレシア) = 信者の団体、集会、共同体

イエスをキリスト(メシア、救い主)と信じる人々が集まって組織している共同体

家に集まる教会 家の教会(ローマ 16:5) (信仰共同体)

(「イエスがメシア(救い主)である」という信仰に基づいて教会が造られる)

教会ではどんなことをするか。

礼拝をする

日曜日（主の日）イエス様が復活された日 主日礼拝

Cf. ユダヤ教 土曜日（安息日（シャバット）にシナゴークで礼拝）

イスラム教 礼拝（サラート）

一日5回、メッカに向かって行う。金曜日正午にはモスクで集団礼拝
儀式を行う

儀式（洗礼式と聖餐式（ミサ））

洗礼式：イエスをキリストと信じて口で言い表し、水で清くされる儀式
信徒の仲間に加わる

聖餐式：イエスの弟子たちとの最後の晚餐から始まった。

（ミサ） パ ン：十字架で苦しんだイエスの体

ぶどう酒：十字架で流された血

宣教をする

イエスがすべての人の「救い主」であることを人々に知らせる宣教活動
教育活動をする

聖書研究会、教会学校（日曜学校、子どもの教会）

相互扶助を行う

（互いに助け合うこと）

「共に生きる」精神で協力しあうのが教会

社会活動をする

（福祉活動、人権を守る活動、平和を作り出す活動）

2 教会の三大祝日

(1) 降誕日（クリスマス）＜12月25日＞

(2) 復活日（イースター）＜春分の日後の最初の満月の次の日曜日＞

(3) 聖霊降臨日（ペンテコステ）＜復活日の50日目の日曜日＞

3 教会の行事

(1) 母の日（5月第2日曜日）

(2) 子供の日・花の日（6月第2日曜日）

(3) 収穫感謝日（11月第4日曜日）

(4) 聖バレンタインデー（2 / 14）

(5) ハローイン（11 / 31）

第2部 イエス・キリスト

第1章 イエスの誕生

1 イエス誕生の時代

イエス・キリスト（Jesus Christ（英語））

Ihsou" Cristoʋ イエスース クリストス（ギリシア語）

イエス ...固有名詞（ヘブライ語ではヨシュア）、一般的な名前

当時、姓はない。父親の名前や地名をつけて呼んだ。

イエスの場合... (ナザレ) のイエス

キリスト...人名ではない。元来普通名詞、称号 (クリストスと発音)

ヘブライ語の「マーシアッハ」(メシア)のギリシア語訳 (クリストス)

「油を注がれた者」の意。「イスラエルの王の称号」として使用

「解放者、救い主」を意味するようになった。

イエス・キリスト 「イエスはキリスト(救い主)である」という信仰告白の表現 (=)

キリスト教は「イエスはキリスト(救い主)である」という信仰から始まった。

イエスはユダヤ人(民族名) (ヘブライ人、イスラエル人)

ユダヤ人の宗教 ユダヤ教

ユダヤ(王国の名、地方名)

ユダヤ地方 - パレスチナ(旧約聖書の時代 カナン)の南部

パレスチナは地中海の東、エジプト、メソポタミア、ギリシアを結ぶ交通の要所
大国が次々と征服し支配した地域。

B.C. 8世紀から、アッシリア、バビロニア、ペルシア、ギリシア、シリア、ローマなどの大国がパレスチナを支配

B.C.40年 ローマ皇帝アウグストゥスは、イドマヤ人のヘロデをユダヤの王に任命
ヘロデは、イドマヤ、サマリヤ、ガリラヤ地方を攻略。B.C.37年にエルサレム陥落
ヘロデ大王(B.C.37 - B.C.4)による間接的支配

・ローマの手先、独裁者、残忍な王(マタイ 2:16f.)

・ユダヤ人の金持ち階級や祭司たちはヘロデ王を支持

民衆：抑圧され、虐げられていた

メシア(救い主)の誕生を待ち望んでいた。

イエスの誕生(マタイ 2:1 ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムで生まれた)

2 イエスの誕生物語

{ いつ B.C.7年 ~ B.C.4年
どこで ユダヤのベツレヘム
だれが イエス(ナザレのイエス)...ガリラヤのナザレで成長
どうした 誕生した

(参考)

イエス・キリストの誕生のお話

占星術の学者たち「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。
わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」(マタイ 2:2)

(B.C.7年に木星と土星が三度接近、強烈な光彩を放った)

「イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった」(マタイ 2:1)

(B.C.37-4 在位、B.C.4 没)

イエスの誕生 紀元前(B.C.) (7)年 - (4)年の間

西暦(キリスト紀元)の考案 6世紀 10世紀以後次第に使用された。

6世紀のローマの修道僧ディオニシウス・エクスイグウス(497頃-550)

当時は、ディオクレティアヌス紀元(皇帝の即位紀元)が使われていた。

ディオクレティアヌス(在位 284-305)...ローマ皇帝、キリスト教徒迫害で有名
ベツレヘム(イエス誕生の地)

エルサレムから南へ7 km 下った所、標高 750m の丘陵地
町の中心に、現存する最古の教会「(聖誕教会)」がある。

「ダビデの町」と呼ばれている(ダビデの故郷)

イエスの父 - ヨセフ(大工)(マタイ 13:55) ダビデ王(先祖)

イエスの母 - マリア(ヨセフの婚約者)

マリアへの「受胎告知」(ルカ 1:26 - 38)

天使(ガブリエル)

「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」(ルカ 1:28)

マリアの動揺(突然の告知)

天使「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。あなたは身
ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい。」(ルカ 1:30-31)

マリアはヨセフと婚約中 (救い)

身ごもる(妊娠) - 相手への裏切り行為、社会的非難を受けること

天使「神にできないことは何一つない」(ルカ 1:37)

天使ガブリエルの知らせを受け入れる (ルカ 1:38)

「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように」

下働きをする女、下女、お手伝いさん

婚約者マリアの妊娠 ヨセフの困惑(悩み・苦しみ) 離縁を考える

天使が夢の中に現れて

「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によ
って宿ったのである。マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。こ
の子は自分の民を罪から救うからである。」(マタイ 1:20-21)」

ヨセフ、天使のお告げを信じ、マリアと結婚

ローマ皇帝アウグストゥス(オクタヴィアヌス)(在位 B.C.27 ~ A.D.14)

全領土の住民に国勢調査の勅令を出す

ヨセフたち ガリラヤのナザレからユダヤのベツレヘムへ行く

家畜小屋で、マリアはイエスを出産 飼い葉桶に寝かせた(ルカ 2:1-7)

羊飼いたちに、天使が現れる(お告げ)

「今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メ
シアである」(ルカ 2:11)

占星術の学者たち(東の方から来る)

「ユダヤ人の王(メシア)としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたした
ちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」(マタイ 2:2)

イエスに会い、黄金・乳香(香水)・没薬(薬)をささげる

ヘロデ大王の不安(自分の地位がおびやかされる)

「ヘロデは占星術の学者たちにだまされたと知って、大いに怒った。そして、人を送り、
学者たちに確かめておいた時期に基づいて、ベツレヘムとその周辺一帯にいた二歳以
下の男の子を、一人残らず殺させた。」(マタイ 2:16)

イエスには、4人の弟と妹も何人がいた。(マルコ 6:3、マタイ 13:55-56)

(ヤコブ、ヨセ(ヨセフ)、ユダ、シモン)

第2章 イエスの生涯と教え

1 イエスの生涯

生まれた所：ユダヤのベツレヘム（旅行中） B.C.7-B.C.4

育った所：ガリラヤ地方のナザレ、大工の仕事

洗礼者ヨハネから洗礼（バプテスマ）を受ける（マタイ 3:13-17）

悪魔から誘惑を受ける（マタイ 4:1-11）

宣教活動開始（およそ30歳）（ルカ 3:23）

第一声「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」（マルコ 1:15）

イエスの時代

紀元前4年、ヘロデ大王の死後、領土は3人の息子に分割

- ・ヘロデ・アンティパス（ガリラヤ、ペレア地方の領主）
- ・フィリポ（イトラヤとトラコン地方の領主）
- ・アルケラオス（B.C.4-A.D.6）（ユダヤ、サマリア、イドマヤ地方の領主）失政、追放
ローマの直轄地、総督ポンティオ・ピラト（在位26-36）がローマから派遣

イエスの弟子たち

ガリラヤ湖の4人の漁師

シモン・ペトロとその兄弟アンデレ、ゼベダイの子ヤコブ、ヨハネ

12弟子（12使徒）マタイ 10:1-4

イエスを信じた人たち：下層階級、弱い立場の人たち

イエスは「たとえ」で真理を語る

例、「善いサマリヤ人」のたとえ（ルカ 10:25-37）

「放蕩息子」のたとえ（ルカ 15:11-32）

「なくした銀貨」のたとえ（ルカ 15:8-10）

「十人のおとめ」のたとえ（マタイ 25:1-13）

「タラント」のたとえ（マタイ 25:14-30）

「種を蒔く人」のたとえ（マルコ 4:1-9）

逆説による教え

「富んでいるあなたがたは、不幸である」（ルカ 6:24）

「先にいる多くの者が後になり、後にいる多くの者が先になる」（マルコ 10:31）

自ら模範を示す（弟子の足を洗う）。愛は実践することが大切（ヨハネ 13:1-15）

赦しの愛「七の七十倍までも赦しなさい」（マタイ 18:22）

奇跡を行う（病人をいやす（ヨハネ 9:1-7 etc.）、5000人に食べ物を与える（マルコ 6:30-44）、
突風を静める（マルコ 4:35-41））

山上の説教（マタイ 5-7章）、平地の説教（ルカ 6:17-49）

3年間の宣教生活 逮捕、十字架で殺される 墓

三日目（日曜日の朝）復活、40日間弟子に現れる 昇天

2 イエスの教え

(1) 天地の創造者である神を知る

「初めに、神は天地を創造された」（創世記 1:1）

神の存在を信じる 一種の賭け？

神に目を向ける 真理を知るための第一歩

(2)生命の尊重

「生命は何物にも代えがたい大切なものである」？

「人は、たとえ全世界を手に入れても、自分の命を失ったら、何の得があるのか。自分の命を買い戻すのに、どんな代価を支払えようか。」(マタイ 16:26)

生命は神が創造したもの 一人の生命は、全世界よりも価値がある。

(3)神が創造した自然を大切にす

神は彼らを祝福して言われた。「産めよ、増えよ、地に満ちて地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ。」(創世記 1:28)

(愛による支配、愛による管理)

自然を守ること、動物・植物を守ること、地球環境を守ることの大切さ。

(4)形式よりも心を

「安息日を心に留め、これを聖別せよ。六日の間働いて、何であれあなたの仕事をし、七日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。」

(出エジプト記 20:8-10)

「安息日に善いことをするのは許されている。」(マタイ 12:12)

安息日を形式的に守ることよりも善い行いをすることのほうが大切。

「心の清い人々は、幸いである、その人たちは神を見る」(マタイ 5:8)

心が清く純粋であることが大切。

心の中で悪いことを考える者は、すでに悪いことをしているのと同じ。

(5)愛の実践

「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」(マタイ 5:44)

「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのか知らないのです」(ルカ 23:34)

愛は赦すこと。 Cf. コリントの信徒への手紙一 13章

敵を愛する教え 赤十字

(6)人権尊重の行動

人権を無視された人たち

律法を守りにくい職業の者、ローマのために働く徴税人、不治の病人、心身の障害者 弱い立場にある人たち、虐げられている人たちの立場を理解し、「友」となる。

「重い皮膚病を患っている人をいやす」(ルカ 5:12-16)

(汚れたもの)

◆ 隣人になるとは何のことですか。

「善いサマリア人」のたとえ (ルカ 10:25-37)

10:25 すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスを試そうとして言った。「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか。」イエスが、「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と言われると、彼は答えた。「『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」イエスは言われた。「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」

10:29 しかし、彼は自分を正当化しようとして、「では、わたしの隣人とはだれですか」と言った。イエスはお答えになった。「ある人がエルサレムからエリコへ下って行く途中、追いはぎに襲われた。追いはぎはその人の服をはぎ取り、殴りつけ、半殺しにしたまま立ち去った。ある祭司がたまたまその道を下って来たが、その人を見ると、道の向こう側を歩いて行った。同じように、レビ人もその場所にやって来たが、その人を見ると、道の向こう側を歩いて行った。ところが、旅をしていたあるサマリア人は、そばに来ると、その人を見て憐れに思い、近寄って傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、自分のろばに乗せ、

宿屋に連れて行って介抱した。そして、翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『この人を介抱してください。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います。』さて、あなたはこの三人の中で、だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか。」律法の専門家は言った。「その人を助けた人です。」そこで、イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。」

(7) 異なった民族の人と共に

ユダヤ人とサマリア人 交際しない ユダヤ人（選民思想）

すべての人間は兄弟姉妹

文化、人種、民族をこえて、共に生きる

3 イエスと共に生きる生活

「わたし(イエス)を見るものは、わたしを遣わされた方(神)を見る」(ヨハ 12:45)

イエスの生涯を通して、神がどのような方か、神は何を求めているのかを知る。

イエスと共に生きること 神を知ること。

イエスと共に生きるということは、思いやりの心をもって、報いを期待せずに、人が喜んでくれることを行うこと。

「隣人を自分のように愛しなさい」(マタイ 22:39)

「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」(ルカ 6:31)